

毎年夏休み中にNHKホールで公演している「NHKこどもミュージカル」の第一弾。(8月4・5の両日、NHKホールで行われた劇団四季公演の「うかれバイオリン」)



前編を、きよと明日一回連続で観る。牧場で勤め喜びの少年トム

は踊り、笑い出す

トム(右から三人め)がうかれ

バイオリンを弾くと、町の人たち

は、「ここまでは魔法使い」から

不思議なバイオリンをもう。この

バイオリンは弾くとだれでも踊

りだすうかれバイオリン。トムは

このバイオリンでちっととも笑わな

い市長の娘を笑わせてほひをも

うとする。飲ちゃんのどこまでやるの

は、ここまでは魔法使いから

静まり返った真夜中の団地へ。

飲一夫妻が就寝前のひとときにお

互いの肩をたたき合って仲むつま

じやってる。突然、酔っ払

いのゆめき声。あまりのうるさ

にまたかねた飲一が外に出てみ

る。中年男が、口へ口に酔っ払

つて何やつたを書いてる。

よくやか話を聞いてみると、会

社が倒産して職もみづからぬまま

話で、飲一はすつかり同情して、

最初は迷惑がちに飲一夫妻に想いを

尽かされてしまったという裏話

を語りはじめる。それで、その

かさに感謝感激していたが、その

醉っ払い男は、たんだんと凶々し

もなく、飲本家のものと思いつ

くなく、飲本家の温

最初は迷惑がちに飲一夫妻の温

話で、飲一はすつかり同情して、

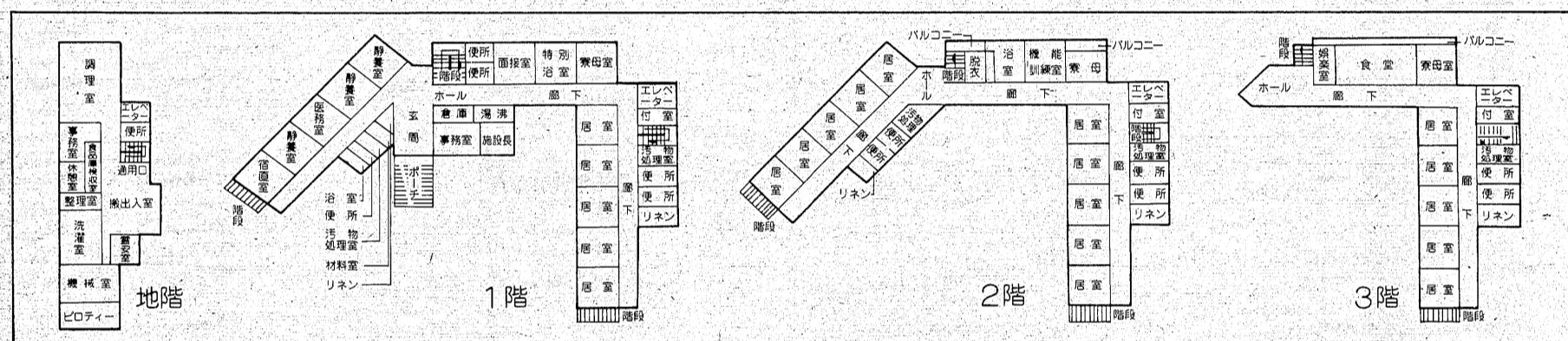
最初は

特別養護老人ホーム 祝いわさき荘誕生

落成式=8月25日午前10時30分



竣工した“いわさき荘”（いわき市常磐上湯長谷町上ノ台88の1）



いわき厚生会役員
昭和五十四年九月一日 収容人員八〇人

満六十五歳以上の年寄りで次の要件を満たす者
①身体上又は精神上の著しい欠陥のため日常生活に困窮する者
②精神疾患のない者

理事長 磯野清治 理事 小野一雄、竹内正也、後藤会次、江島隆きの、金成源右衛門、大庄司隆
会員 千葉よし 監修 山崎賢助
会員 岩田久男

いわき市議会議長
いわき市長 田畠金光

橋本
あいさつ
いわき市議会議長
いわき市長 田畠金光

いわき厚生会
会長 江島清治

特別養護老人ホーム

いわさき荘

社会福祉法人「いわき厚生会」（磯野清治理事長）が昨年十月から事業を始めたいわき荘（石川佐和施設長）が完成、二五日午前十時半から常磐上湯長谷町上ノ台の同所で落成式が行われる。オープンは九月一日。

同所は市所有の旧東北電力保養所跡地を無償で借り受け、財助金四億円を含めた、総額五億七千四百五十九万円（地取替費、整備費を含む）の巨費を投じて建てられた立派なもの。

いわき荘の誕生は、寝たきり老人自身はもちろらん、老人介護に専念している家族にとって大きな朗報であり、また、短期入所や一般老人の入浴を取り扱い、老人の福祉増進に寄与する方針である。

施設の目的

この施設は、老人福祉に基づく特別養護老人ホームで、年齢六十歳以上のお年寄りで、身体上又は精神上著しい欠陥があるため初めての老人福祉施設である。

施設運営開始

昭和五十四年九月一日。収容人員八〇人。

施設の規模

敷地面積 五、四〇九平方メートル

建物面積 ル 二、五五・九八平方メートル
機造 鋼筋コンクリート造三階建
一部地下一階
建築面積 四八五・四八〇〇〇坪

職員構成
「いわき荘」は常磐線湯本駅附近を走る鉄道を利用した施設で、社員生活、家庭生活への復帰をめざす。短期入所や一般老人の入浴も取り扱う。

環境

静かな環境にある。

施設の特色

③団体生活に支障をきたすおそれのない者

申し込み入所を希望する者は居住地の福祉事務所に相談する。費用＝町村民税非課税の方は無料。その他の人は各福祉事務所で負担額を決定する。

入所手続

完備された施設のもとで、豊富な温泉を利用して穏やかな機能回復訓練等を行うことによって、社会生活、家庭生活への復帰をめざす。短期入所や一般老人の入浴も取り扱う。

施設の特徴

このたび、特別養護老人ホーム「いわき荘」が開所する運びとなりましたことを心からお祝い申し上げます。

現在、いわき市には、養護老人ホームが二箇所運営されていますが、特別養護老人ホームは市内で初めての施設であり、かねてより設立が熱望されていた施設である。

人口の高齢化が急速に進む現代にあって、老人福祉は市政の大きな課題であり、とりわけ寝たきりの老人の方々の福祉を向上させることは、施設の急務である。

このうちなかにあって、いわき厚生会の皆様が理事長をはじめとして、種々の困難を乗り越え、このたびの開所になりましたご努力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、今後のいわき荘の発展をお祈り致します。

お祝いのことば

このたび、特別養護老人ホーム「いわき荘」が開所する運びとなりましたことを心からお祝い申し上げます。
現在、いわき市には、養護老人ホームが二箇所運営されていますが、特別養護老人ホームが市内で初めての施設であり、かねてより設立が熱望されていた施設である。

人口の高齢化が急速に進む現代にあって、老人福祉は市政の大きな課題であり、とりわけ寝たきりの老人の方々の福祉を向上させることは、施設の急務である。

このうちなかにあって、いわき厚生会の皆様が理事長をはじめとして、種々の困難を乗り越え、このたびの開所になりましたご努力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、今後のいわき荘の発展をお祈り致します。

このうちなかにあって、いわき厚生会の皆様が理事長をはじめとして、種々の困難を乗り越え、このたびの開所になりましたご努力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、今後のいわき荘の発展をお祈り致します。</p

いわき人の「気質」を考える たかき とうすい

①

先般川町の中條実さんが、「歴史宗教から見た、いわき人」についてお書きになった。その当時、いわき民報の編集部から、「この機会にいわき人気質についていろいろの人の意見を連載してみたいと思つた。御意見書いてほしい」という電話があった。簡単には承知はしたもの、いざいわき人の気質について、そのうつて来る所をつかのまつて考えてみると、問題はなかなか容易ではない。

たまきが「昨年『いわき市史』に、いわき市で発行された新聞雜誌に書いてほしい」と、そのうつて来る所をつかのまつて考えてみると、問題はなかなか容易ではない。

誌について書くことになり、その材料あさりに三猿文庫に行つたところ、「磐城文化協会の仕事」というパンフレットが出て来た。昭和十六年に私が書いたものである。その中に「磐城魂論」についての諸氏の意見を要約したものが載つておる。「磐城魂論」はどうもなさず「いわき人気質論」である。そこでこの機会に「磐城魂論」を土台にして、私の磐城人気質論を書いて貰を果たしたいと思う。

けるような態度を改め、他人の美點を認めることによってやる。

風錦三つそぞれなれ遠風の音
櫛の裡しきりと斷て梅雨晴間
落つるだけ落ちて青柳育ち来る
涸の外に田て力抜く漣の水
奉納の蟻りぞ青風

ボル箱はまだ漁網月見草
杉山の胎内暗らぬ法師蝶
茂り抜け生傷なめる水の際
影法師動くや夜の飾窓

打水の滴る暁庭の木々
山水さざやく如し善我の花
雨はれて雪の森の舞繁り
瀬の石に若鮎跳ね梅雨終る

芳賀

他郷

梅雨晴れの雜草群れて西を指す
西日にも悔の痕消え去らず

汗止まず生意業いかと行商人
汗止まず生意業いかと行商人

常磐俳句研究会

8月例会

夕涼み戦後生れの僧ギター
涙多め近眼細め梅雨明けし
雲に触れ雲に去ひるる凌霄花
花火祭り火尽きたる如く終る

鈴木

知世

安達

太良

や人道普を背負ひけり

錦鯉色鮮か梅雨明けり

見守

小島

恵家

呼ひに来た母も辛子伝子の花火

新益の香華の匂う母の袖

夏の動動くや光追ふ蛙

打綱打つ夫の足元を蛇泳ぐ

扇風機娘の着物こそを乱居り

那珂川へ上り来る鮎さざ波めり

きしきしきさむ葉味や茗荷の子

端屋

時直

田口

愛子

蝉しぐれ聞くや日照草ふやし行き

夏の動動くや光追ふ蛙

新益の香華の匂う母の袖

夏の動動くや光追ふ蛙

打綱打つ夫の足元を蛇泳ぐ

扇風機娘の着物こそを乱居り

那珂川へ上り来る鮎さざ波めり

きしきしきさむ葉味や茗荷の子

端屋

時直

正

知世

愛子

風錦三つそぞれなれ遠風の音

櫛の裡しきりと断て梅雨晴間

落つるだけ落ちて青柳育ち来る
涸の外に田て力抜く漣の水
奉納の蟻りぞ青風

野口とし秋

鈴木

知世

安達

太良

や人道普を背負ひけり

錦鯉色鮮か梅雨明けり

見守

小島

恵家

呼ひに来た母も辛子伝子の花火

新益の香華の匂う母の袖

夏の動動くや光追ふ蛙

打綱打つ夫の足元を蛇泳ぐ

扇風機娘の着物こそを乱居り

那珂川へ上り来る鮎さざ波めり

きしきしきさむ葉味や茗荷の子

端屋

時直

田口

愛子

蝉しぐれ聞くや日照草ふやし行き

夏の動動くや光追ふ蛙

打綱打つ夫の足元を蛇泳ぐ

扇風機娘の着物こそを乱居り

那珂川へ上り来る鮎さざ波めり

きしきしきさむ葉味や茗荷の子

端屋

時直

正

知世

愛子

端屋

時直

正

知世